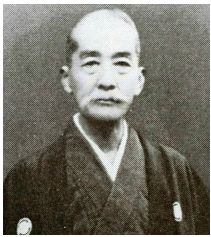




行方歴史探検 輝く行方の先人たち 8



地域医療の先駆者～麻生の名医 福田 安次郎～



福田 安次郎
(出典:市教育委員会所蔵)

安次郎は、慶応元（1865）年新治郡牛渡村（現かすみがうら市牛渡）で生まれました。明治15（1882）年東京大学医学部に入学し、明治20（1887）年帝国医科大学（※1）医学部別課を卒業、同大学第二医院に勤務し研鑽に励みました。折しも海外留学が盛んで、その資金を得るために、明治21（1888）年に郷里の牛渡村に福田医院を開業しましたが、姉の婚家（※2）の紹介で、明治23（1891）年に麻生に移転（※3）しました。温厚篤実で患者に寄り添う診療は、人々の信頼を得て地域に愛される名医として慕われました。安次郎は、地域の人々の期待に応えるべく洋行（※4）を諦め、地域医療に生涯をかけることを決意します。その後、行方郡医師会会頭、県医会役員、茨城衛生支部会評議員、県地方衛生会委員等を歴任して、地域の人々の健康維持や増進に多大な貢献をしました。

※1 明治19（1886）年に帝国大学医科大学と改称、当時、帝国大学は1つだけだった。

※2 嫁入り先の家 ※3 現麻生藩家老屋敷を買取り開業 ※4 欧米諸国へ留学すること

※麻生の文化（23号（1992）麻生町郷土文化研究会）、麻生の文化（55号（2024）行方市麻生郷土文化研究会）を参考にしています。

【問】生涯学習課（北浦庁舎）

☎0291-35-2111



まちの
広報紙

スマホでもっと楽しめる！ 市報行方デジタルブック！

音声読み上げ、スライドショー、10言語の多言語翻訳機能が搭載された無料のスマートフォン向けアプリです。紙の情報を電子データで配信しています。

Android



行方市のコンテンツは
こちら▶



iPhone



編集後記

行方1Cが開通します。インター周辺の景色は、目分が初い頃から目慣れたものと大きく変わりました。開通により周辺が今後どのように変わっていくのか今から楽しみです。趣転入してから初めて秋祭りに参加しました。にぎわう子どもたちと交流する市民、にぎやかな舞台パフォーマンス、おいしい食べ物に心も体もフレッシュできました。（囀）

かわいい笑顔あつまれ！



幸せを
ありがとう！

えまちゃん
0歳



笑顔いっぱい
の毎日を！

みこと
望心音ちゃん
0歳



おおきく
なるぞ！

るか
琉華くん
0歳

「市報行方」の感想をお聞かせください

いただいた感想は、より良い市報づくりの参考にさせていただきます。感想は、下記のQRコードか、はがきやFAX等でお寄せください。ご協力よろしくお願いします。

【お問い合わせ】
魅力発信課（麻生庁舎）
☎0299-72-0811
FAX 0299-72-1537



「かわいい笑顔」募集中！

小学校入学前までのお子さんの写真を募集しています。詳細は、右のQRコードから▶



「市報行方」は、各地区の公共施設や商業施設等に配置しています。

詳細は、右のQRコードから▶

【市報配布に関するお問い合わせ】

総務課（麻生庁舎）☎0299-72-0811



行方市の人口

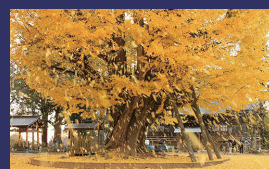


総数 30,417人 (-30)
男 15,458人 (-13)
女 14,959人 (-17)
世帯数 13,206世帯 (+2)
令和8年10月1日現在の住民基本台帳人口
※外国人住民を含む () は前月との比較

行方市民憲章 やさしい自然 かがやく人 わたしたちがつくる 魅力あるまち、行方市



市の花 ヤマユリ（山百合）



市の木 イチョウ（銀杏）



市の鳥 シラサギ（白鷺）